

戸 田 市 教 育 委 員 会 会 議 録			
招 集 期 日	平 成 2 7 年 9 月 2 4 日 (木)		
場 所	戸 田 市 役 所 教 育 委 員 室		
開 会	9 月 2 4 日 午 前 9 時 3 0 分		
閉 会	9 月 2 4 日 午 前 1 1 時 1 0 分		
教 育 長	戸ヶ崎 勤		
教 育 長 ・ 委 員 出 席 状 況	戸ヶ崎 勤	出 席	
	仙 波 憲 一	出 席	
	吉 田 辰 行	出 席	
	鈴 木 晃	出 席	
	土 肥 美 奈 子	出 席	
説 明 員	中川教育部長、鈴木次長、西袋次長、熊谷副参事、		
	栗津教育総務課長、星野学務課長、山根指導課長、		
	大山生涯学習課課長、生涯学習課雨宮副主幹、		
	教育総務課 諏訪村主幹		
書 記	教育総務課総務担当 山本主任		
傍 聴 人	2 人		

会 議 の 経 過 及 び 結 果

教 育 長	<p>ただ今から、平成27年第9回戸田市教育委員会定例会を開会いたします。</p> <p>初めに、前回の会議録の承認ですが、事前に会議録の内容を見ていただいておりますので、ご異議がないようでしたら承認ということによろしいでしょうか。</p>
各 委 員	了承
教 育 長	それでは、会議録にご署名をお願いします。
各 委 員	署名
教 育 長	<p>次に、秘密会となる案件につきましてお諮りいたします。</p> <p>本日の「報告事項⑤ 中学校学校選択制における通学区域外受入予定定員数について」は、公開することにより事務の公正な執行に支障が生じる案件となりますので、秘密会で行うこととしてよろしいかお諮りいたします。</p>
各 委 員	異議なし
教 育 長	それでは、「報告事項⑤」は、秘密会とすることに決定いたしました。
教 育 長	<p>はじめに、「教育委員提案について」ご報告いたします。先月の教育委員会で委員よりご質問のあった、第3次戸田市教育振興計画策定の進捗状況について報告がございます。</p> <p>詳細につきまして、教育総務課長より報告いたします。</p>
事 務 局	<p>第3次戸田市教育振興計画策定の進捗状況につきましてご説明いたします。</p> <p>7月の教育委員会にて、戸田市の教育を取り巻く状況や戸田市の教育をめぐる課題と対応の方向性、基本理念・基本目標・目指す児童生徒像</p>

	<p>を定めた骨子案についてご報告いたしました。それをまとめたものが、資料1ページ～7ページまででございます。</p> <p>現在、その骨子案をもとに、資料8ページ・9ページのとおり体系立て、具体的な施策の展開について、素案を作成中でございます。</p> <p>また、計画の基本理念「生き生きと 共に育む 教育のまち 戸田」を踏まえ、戸田市の教育が目指す方向性を常に確認できるようなキャッチフレーズを教職員・教育委員会事務局職員で考え、投票の多かった4題について、資料10ページに記載しております。この中から委員の皆様を選んでいただき、キャッチフレーズを決定したいと思います。</p> <p>今後、検討委員会・審議会にて11月末までに計画案をまとめ、12月にパブリックコメントを実施する予定です。そして1月に最終的にまとめ、教育委員会に諮り、策定完了とする予定です。随時教育委員会で報告いたします。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>以上で報告が終わりました。何かご質問等がありましたら伺います。</p> <p>特にないようでしたら、キャッチフレーズを決定したいと思います。事務局からそれぞれのキャッチフレーズについて簡単に説明してください。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>「新たな教育を創るまち 戸田」は、これから本市が実施していく新しい学びの創造をイメージしたものです。</p> <p>「知の結集 未来にはばたく 戸田の教育」は、本市が産学官民と連携して進めていく教育を受けた子供たちが未来にはばたいていくことをイメージしたものです。</p> <p>「とだっ子 やり抜く 未来っ子」は、21世紀を生き抜くために最後までやり抜く、非認知型スキルの充実したとだっ子が未来を拓くことをイメージしたものです。</p> <p>「とだっ子の 学力UP 日本一」は、学力とは、確かな学力・豊かな心・健やかな体（知・徳・体）であり、これまで以上に伸ばしていく</p>

	ことをイメージしたものです。
教 育 長	それでは委員の皆様のご意見を伺います。
委 員	私は「夢」とか「未来」という言葉がいいと思います。とだっ子がいい大人になってもらいたいし、大人になったとき夢のある未来になってほしいと思うからです。ですから、「知の結集 未来にはばたく 戸田の教育」がいいと思います。
委 員	私は「とだっ子 やり抜く 未来っ子」がいいと思います。ただ、「やり抜く」というのを「21世紀を生き抜く」とするとより具体的でわかりやすいかと思います。
委 員	戸田市の教育が目指す方向性を常に確認できるようなキャッチフレーズということで、教育の担い手からの目線か、受け手からの目線かどちらがいいのかまだわかりません。 基本目標のキーワードは「やり抜く力」と「環境整備」であるので、それを考えると「やり抜く」という言葉はいいのですが、「やり抜く力」のほうがよいと思います。 教育長が志向している「新たな教育」や「知の結集」という言葉もキャッチフレーズにそれぞれ入っていて、どれも捨てがたく、ひとつに決めるのが難しいです。
委 員	これまでの計画にはなくて、第3次の計画として新しいものは「やり抜く」ということだと思うので、私は「とだっ子 やり抜く 未来っ子」がいいと思います。これからの時代、様々な課題があってそれを主体的に解決していかなければならないと思うので、「最後までやり抜く」必要があると思います。 また、「とだっ子の 学力UP 日本一」は、学力は知・徳・体との説明がありましたが、学力一辺倒にとらえられてしまう恐れがあるので反対です。

<p>教 育 長</p>	<p>今のご意見からは、「とだっ子 やり抜く 未来っ子」がよさそうですが、そのままの言葉では賛同いただけないようなので、来月の教育委員会までに事務局で再考してください。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>承知いたしました。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>続きまして、「報告事項」について申し上げます。本日は、「その他」を含めまして10件の報告がございます。</p> <p>① 平成27年第4回戸田市議会定例会（9月）教育関連一般質問 件名・概要について</p> <p>② 教育委員会会議の運営上の工夫について</p> <p>③ 第2次戸田市教育振興計画実施計画の実績・今後の展望等について</p> <p>④ 平成27年度第2回奨学資金貸付内訳（新規分）について</p> <p>⑤ 中学校学校選択制における通学区域外受入予定定員数について</p> <p>⑥ 平成27年度全国学力・学習状況調査の結果について</p> <p>⑦ 平成27年度戸田市教育委員会等研究委嘱校の研究発表会について</p> <p>⑧ 子育て講演会の開催について</p> <p>⑨ 第31回特別展の開催について</p> <p>⑩ その他</p> <p>詳細につきまして、各所属長より報告いたします。なお、ご質問につきましては、すべての報告が終了したのちに伺います。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>①平成27年第4回戸田市議会定例会（9月）教育関連一般質問 件名・概要について報告します。真木議員から教育関連の質問がございました。本田議員、手塚議員、金野議員の質問につきましては、教育委員会事務局で答弁しておりませんが、関連がありますので報告します。</p> <p>真木大輔議員（戸田の会）</p> <p>3 学校給食費の未納対策について</p>

(1)学校給食費の未納状況と未納対策について。

(2)学校給食費の未納者に対する「児童手当からの天引き」実施状況について。

(3)未納を防ぐために、今後、学校給食費の納入方法を「児童手当からの天引き」に統一してはどうか。

答弁概要：

(1)平成26年度決算では、未納額は300万7,197円、不能欠損額は55万5,604円であった。未納対策は、文書を送付する、電話をかける、訪問するなどの方法で、学校と教育委員会が協力して実施している。

(2)平成27年2月支給分から実施しており、同年6月支給分までで徴収額は7万8,530円であった。

(3)児童手当を受給している全ての世帯から天引きにするには課題が多く、研究課題としたい。

本田哲議員（日本共産党）選挙管理委員会が答弁

3 18歳選挙権について

(1)選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、来年夏の参院選から適用される。そこで、以下の2点について伺う。

①来年夏の参院選では、約240万人が新たな有権者となると報道されているが、戸田市内における18歳以上の新たな有権者は何人になるのか。

②18歳以上の新たな有権者に対し、選挙権を行使してもらうために市として新たな取り組みは考えているのか。

答弁概要：

(1)①約4,000人弱が18歳以上の新たな有権者となる。

②現在、20歳の誕生日にバースデーカードを送付し、啓発を行っているが、それを18歳に引き下げる。また、期日前投票所の立会人の募集年齢を引き下げ、若者の取り込みを考えている。

手塚静枝議員（公明党）選挙管理委員会が答弁

1 投票率向上の取り組みについて

(1)選挙権を18歳に引き下げる改正公職選挙法が公布され、来年夏の参院選から実施する見通しである。若者を初めとする有権者の投票率が低下傾向にある中、有権者が投票しやすい環境を一層整備し、投票率の向上を図っていくことは喫緊の課題である。そこで伺う。

①初めて選挙を経験する若者への主権者教育についての取り組みは。

②若者への投票率向上となる施策は。

③政府は、国政・地方の各種選挙の投票率向上を図るため、公職選挙法の改正や投票所の選択も検討を進めているが、本市はどのように捉え、検討を進めているのか。

答弁概要：

(1)①総務省が文科省と連携して、高校生向けの副教材を作成・配布する予定となっている。

②現在、20歳の誕生日にバースデーカードを送付し、啓発を行っているが、それを18歳に引き下げる。また、期日前投票所の立会人の募集年齢を引き下げ、若者の取り込みを考えている。

③国や県の動向を踏まえ研究を進め、法の改正があれば検討する。

金野桃子議員（戸田の会）児童青少年部が答弁

2 子供をめぐる課題について

(2)埼玉県青少年健全育成条例について。

	<p>答弁概要：</p> <p>(2)寝屋川市の中学生が殺害された事件を受け、青少年の夜間の外出に対する取組については、昼間・夜間における青色回転灯装備車両による防犯パトロール、戸田市青少年補導員協議会や蕨戸田学校警察連絡協議会などによる花火など行事開催時のパトロール、戸田市青少年を育てる地域の会による夜間パトロールを実施しております。</p>
<p>事務局</p>	<p>②教育委員会会議の運営上の工夫について報告します。</p> <p>文部科学省では、教育委員会の活動状況等の実態を明らかにし、各教育委員会における取組の改善に資するため、平成15年度より「教育委員会の現状に関する調査」を実施しております。直近の調査結果（平成25年度間）が公表されましたので報告します。</p> <p>様々な調査項目がありますので、資料をご確認いただきたいのですが、特に8ページの教育委員会会議の運営上の工夫について、表に掲げられている取組のうち、⑥、⑦、⑧は既に本市で実施している取組ですが、委員の皆様方からも本市で取り入れたほうがよい取組などがありましたらご意見をいただければと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>③第2次戸田市教育振興計画実施計画の実績・今後の展望等について報告します。</p> <p>第2次戸田市教育振興計画実施計画につきましては、平成23年度から平成27年度までの5年間を計画期間とする、第2次戸田市教育振興計画の推進のため、実施計画を作成し、毎年度の点検・評価・改善を行うものでございます。</p> <p>今回、配布させていただいたものは、去る8月27日に行いました、平成27年度第1回の教育振興計画推進委員会で、平成26年度実施事業の実績・今後の展望等について点検・評価を行ったものをまとめたものでございます。重点施策については、計画策定時である平成22年度の現状と、計画の最終年度である平成27年度まで毎年度の目標値を数</p>

値目標として掲げております。

まず、重点施策1 確かな学力の育成について、授業がわかる児童生徒の割合についてです。実態調査を行った結果、平成26年度は小学校の計画値89%に対し、実績値は87%、中学校の計画値78%に対し、実績値は76%でほぼ目標を達成しております。

また、授業に取り組んでいる児童生徒の割合についてですが、小学校の計画値89%に対し、実績値は88%、中学校の実績値は81%で計画値79%を上回っております。

次に、重点施策2 豊かな心の育成について、通学合宿の年間実施回数についてです。通学合宿とは、子供たちの自律心や自主性、協調性をのばし「生きる力」を育むことを目的とし、子供たちが保護者の元を離れ、地域の公共施設に宿泊し団体生活の基本を自分自身で行いながら学校に通う事業のことで、平成26年度の計画値である8回実施に対し実績は3回実施で、目標を達成できませんでした。

また、規律ある態度の達成度については、「学力」、「規律ある態度」、「体力」の3つの分野で学習指導要領に基づき、その学年で確実に身に付けさせたい基礎的・基本的な内容についての調査を行った結果、平成26年度は、小学校87%、中学校91%の実績でほぼ目標を達成しております。

次に、重点施策3 よりよい教育環境の整備について、施設維持保全改修実施学校数についてです。学校施設につきましては、維持補修に多くの費用がかかりますので、年度ごとの改修計画に基づいて実施しております。平成26年度までの改修実施校につきましては、計画どおり累計11校となっております。

次に、重点施策4 家庭・地域の教育力の向上について、地域子育て支援拠点つどいの広場事業についてです。つどいの広場は、乳幼児の親子を対象に、子育て中の各種相談や仲間づくりの拠点として設置しているもので、重点施策ではこの場所の数を数値目標としております。平成

	<p>26年度の計画値9か所に対し、実績値9か所でした。</p> <p>また、市民大学の認定講座数について、平成26年度につきましては、計画値37講座に対し、40講座を市民大学講座として認定して実施いたしました。</p> <p>以上が重点施策の26年度実績で、概ね目標とする計画値を達成しております。資料2ページ以降は、重点施策以外の事業についての実績や今後の展望をまとめたものです。この振り返りを現在策定中の第3次戸田市教育振興計画に反映してまいります。</p>
事務局	<p>④平成27年度第2回奨学資金貸付内訳（新規分）について報告します。</p> <p>奨学資金貸付につきましては、年に2回、3月と9月にそれぞれ4月からの奨学生・10月からの奨学生を募集しております。今回、平成27年度第2回として9月1日から15日まで募集を行ったところ、2名の申請があり、2名とも貸付が決定いたしました。奨学資金は10月からの貸付となります。</p> <p>なお、今年度第1回の奨学資金貸付申請・決定は、37名、昨年度第2回の奨学資金貸付申請・決定は、3名となっております。</p> <p>また、参考までに、近年の申請状況をみますと、平成20年度に半額返済から全額返済に制度変更したことにより、申請者が減少いたしましたが、21年には増加いたしました。22年度から、高等学校の授業料無償化が始まり、減少傾向となっております。</p>
事務局	<p>⑥平成27年度全国学力・学習状況調査の概要について報告します。</p> <p>4月21日に実施されました全国学力・学習状況調査の結果概要がまとまりましたので報告いたします。対象者は、小学校6年と中学校3年の児童生徒です。</p> <p>調査事項は、主として「知識」に関するA問題、主として「活用」に関するB問題、そして今年度は理科も実施されました。</p>

	<p>本市の結果の概要についてですが、小学校では、国語B、算数B、理科で全国の平均正答率を上回っております。国語A、算数Aを含め、すべて県の平均正答率は上回っているものの、これまでと比較するとその差が縮まってきております。</p> <p>また、中学校においては、国語A、数学Aで全国の平均正答率を上回っております。国語B、数学B、理科については、全国平均を下回っていますが、県の平均正答率は上回っており、全体的には大きく改善しております。</p> <p>資料4ページをご覧ください。学習状況調査についてですが、これは児童生徒対象の質問紙調査の結果です。</p> <p>小学生は、平日、「2時間以上学習する児童の割合」や「計画を立てて勉強する児童の割合」が国や県よりも高くなっています。中学生は、「数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える生徒の割合」や「地域や社会をよくするために何をすべきか考える生徒の割合」が国や県よりも高くなっています。</p> <p>各学校では、現在、自校の調査結果の分析と課題改善に取り組んでいます。指導課でも、学力向上に向けた各学校の取組を教育センターのホームページで紹介し、優れた実践を全校で共有できるようにしていく予定です。なお、今年度も、県はホームページで、市町村全体の調査結果を公表する方向です。</p>
<p>事務局</p>	<p>⑦平成27年度戸田市教育委員会等研究委嘱校の研究発表会について報告します。</p> <p>10月13日の戸田東中学校を皮切りに、今年度はのべ9校が研究委嘱の発表会を開催いたします。</p> <p>特に笹目中学校の研究発表はご案内のとおり、新しい学びの研究として3年次の本発表となります。全国各地から昨年度を超える参加者を想定して取り組んでおりますので、委員の皆様もぜひご参加ください。</p>

事務局	<p>⑧子育て講演会の開催について報告します。</p> <p>子供の発達段階やニーズに合わせた家庭教育を行うため、今年度も小学生、中学生の子供のいる親たちのための子育て講演会を10月14日（水）の午前10時30分から正午まで、新曽公民館ホールで開催いたします。</p> <p>演題を「我が子の幸せを心の底から願うお母さんとお父さんのためのプチ親セミナー」とし、講師には、テレビなどで活躍されている心理カウンセラーの羽林由鶴先生をお招きいたします。</p>
事務局	<p>⑨第31回特別展の開催について報告します。</p> <p>平成27年10月17日（土）から12月6日（日）まで、「戸田ボートコース物語～オリンピックがやってきた～」として特別展を開催いたします。</p> <p>本展覧会では、昭和39年に開催された東京オリンピックの様子やオリンピック時・オリンピック後の戸田ボートコースなどを紹介し、スポーツを通じて友情、連帯、相互理解を深め、平和な世界を目指すオリンピックの精神を感じていただきたいと思います。また、関連事業として、写真展や講演会も企画しております。</p>
教育長	次に⑩ その他ですが、事務局より何かございますか。
事務局	喜沢小学校で新しい学びの一環としてベネッセのミライシードを使った授業が行われ、その様子がJCN埼玉で放映されましたのでそのDVDをご覧ください。
教育長	以上で、「報告事項」が終わりました。何かご質問等がありましたら伺います。
委員	報告事項③の重点施策で、通学合宿の年間実施回数が目標の8回を達成できなかったとのことですが、素晴らしい体験ができるので、実施場所やボランティアの問題がクリアできれば実施したい学校はたくさんあ

	ると聞いています。目標を8回と掲げたのであれば、市で目標達成のために何か手助けしていただけないものでしょうか。
事務局	担当課に確認したところ、町会会館を借りたり、ボートコースで合宿している各大学の大学生にボランティアをお願いできないか考えたりしているようです。
委員	この活動は本当に素晴らしいですし、参加したい保護者や子供がたくさんいるので、何とか実施できるように市の手助けをお願いします。
委員	報告事項⑥の全国学力・学習状況調査で今年度理科が実施されたとのことですが、3年前と比較してどのようになっていますか。
事務局	<p>小学校は、国の平均正答率を超えている割合が縮まってきております。</p> <p>中学校は、国の平均正答率を下回っていますが、正答率が上昇しており、国の平均正答率に近づいております。</p> <p>3年前に小学6年生であった児童が中学3年生になってどうなったかという、小学6年生では国の平均正答率を超えていたが、中学3年生になって国の平均正答率とほぼ同じになっております。</p>
委員	理科離れと言われていますが、戸田市では理科支援員を加配するなどしてその効果が出てきているのではないかと思います。成績が上がった要因を分析していただきたいと思います。
事務局	分析をするとともに、コア・サイエンス・ティーチャーや理科の指導主事が研修等に充実して取り組んでおります。理科好きな子をたくさん増やすよう、さらに取り組んでまいりたいと考えております。
委員	なかなか難しいとは思いますが、地域格差などで教育格差ができてしまっているところには、画一的な支援ではなく、重点的に支援をお願いしたいと思います。
事務局	支援に関してですが、地域貢献ということで、地域の民間塾が11月から8回～10回、土曜日に算数・数学を中心に1回2時間、授業を行

	<p>ってくださいます。</p> <p>やる気はあるけれども、通塾率の比較的低い、美谷本小学校・笹目小学校・美笹中学校の児童生徒を対象に、美笹中学校で実施します。</p> <p>今後、とだっ子学習クラブの質を高めるなど、教育格差の解消に向けて事業を実施していきたいと考えております。</p>
教 育 長	<p>それでは、他に質問等が無いようですので、次に議事に入ります。「議案第39号 平成28年度当初教職員人事異動の方針について(案)」を事務局より説明願います。</p>
事 務 局	<p>平成28年度当初戸田市立小中学校教職員人事異動の方針につきましては、資料3ページ以降の埼玉県教育委員会の平成28年度当初教職員人事異動の方針及び平成28年度当初市町村立小・中学校等教職員人事異動方針細部事項に基づいて作成いたしました。</p> <p>はじめに、埼玉県教育委員会の平成28年度当初人事に係る人事異動方針の変更事項ですが、昨年度と比べ内容の変更点はありません。</p> <p>この埼玉県の方針や細部事項を受け、本市の異動方針を資料2ページのとおり作成いたしました。昨年度との変更点ですが、昨年度は4で「同一校在職7年以上の教職員については、原則として異動を行う。併せて、同一校勤続年数の長い教職員についても、計画的に異動を行う。」としておりましたが、今年度は県の細部事項の文言に沿って7年を10年に改めました。</p> <p>今後、この方針に基づいて、平成28年度当初教職員人事異動に関する事務を進めてよろしいか伺います。</p>
教 育 長	<p>以上で説明が終わりました。何かご質問等がありましたら伺います。</p>
委 員	<p>本市の人事異動の方針の4について、教職員が10年以上同一校に在職すると学校の気風が停滞してしまうのですか。</p> <p>また、在職10年以内に異動を行うとありますが、10年の根拠を教</p>

	えてください。
事務局	<p>新しいことや、学校長の教育方針、地域課題に対応するためにも、10年以内に異動し、新しい風を入れることが必要と考えます。</p> <p>また、新採用職員については、5年以内に他市へ異動を行い、他市のよさを戸田の学校に取り入れていくこととなっています。異動する者がいなければ、新しい人も入ってこないわけですので、10年をひとつの区切りとして定めています。</p>
委員	校長先生や教頭先生などの管理職の異動については、年数の決まりはないのですか。
事務局	年数の定義はありませんが、一般的には3年を区切りに異動を行っております。
教育長	それでは、他に質問等がないようですので、打ち切ります。議案第39号は、提案内容のとおり議決することにご異議ございませんか。
各委員	異議なし
教育長	異議なしと認め、議案第39号は提案内容のとおり議決いたします。
教育長	次に、「議案第40号 戸田市就学支援委員会委員の変更について」を事務局より説明願います。
事務局	<p>今年度4月の教育委員会で、戸田市就学支援委員会条例に基づき、資料2ページ、3ページの名簿のとおり、本委員会委員及び委員会調査委員の委嘱について議決いただきました。</p> <p>このたび、笹目中の佐藤真弥教諭から一身上の都合により、11月20日をもって、委員委嘱の解除の申し出があり、笹目中学校長から補欠委員として、同校の齊藤智恵子教諭が候補者として推薦されました。</p> <p>齊藤教諭は、現在、特別支援学級の担任であり、特別支援学校の経験が6年ある教員です。免許は中学校音楽を所持しており、特別支援学校</p>

	<p>の免許については単位を取得しております。</p> <p>委嘱期間は条例第4条のとおり、前任者の残任期間である平成27年11月21日から平成28年3月31日までです。</p> <p>つきましては、齊藤教諭に委員を委嘱してよろしいか伺います。</p>
教 育 長	<p>以上で説明が終わりました。何かご質問等がありましたら伺います。</p>
教 育 長	<p>それでは、質問等がないようですので、打ち切ります。議案第40号は、提案内容のとおり議決することにご異議ございませんか。</p>
各 委 員	<p>異議なし</p>
教 育 長	<p>異議なしと認め、議案第40号は提案内容のとおり議決いたします。</p>
教 育 長	<p>次に、次第の6. その他の「次回の教育委員会の日程（案）」について、事務局より説明願います。</p>
事 務 局	<p>次回、教育委員会定例会の日程ですが、10月22日（木）午前9時30分からの開催について、お伺いいたします。</p>
教 育 長	<p>それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局（案）のとおりでよろしいでしょうか。</p>
各 委 員	<p>了承</p>
教 育 長	<p>それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局（案）のとおり決定いたします。次に、その他ですが、事務局から何かございますか。</p>
事 務 局	<p>特になし</p>
教 育 長	<p>委員から何かございますか。</p>
委 員	<p>以前、議会で夕焼けチャイムの声を子供たちの声にすることで見守り意識の啓発になるのではないかという一般質問があったかと思いますが、その後どうなったか教えてください。</p>

事務局	承知いたしました。
委員	本市の特別支援教育について、今年度の取組や状況を次回の教育委員会で報告してください。
事務局	承知いたしました。
委員	例年教職員の表彰があるかと思いますが、表彰の充実を図っていただきたいと思います。特別な表彰でなくても、例えば、小さなことでも教育長が表彰するなど、教職員だけでなく、子供たち、保護者や地域、学校も表彰したら皆の励みになるのではないかと思います。そのような雰囲気醸成していただけたらいいなと思います。次回の教育委員会で事務局の考えを聞かせてください。
事務局	承知いたしました。
教育長	ほめる教育は非常に重要だと思っています。教育は小さな賞賛の繰り返しをいかにやったか、それが後々重みを増すと思います。「小さな賞賛の積み重ね」をキャッチフレーズにやっていきたいと思っています。
教育長	それでは、「報告事項⑤」を議題といたします。秘密会とすることに決定しておりますので、説明員で議案に関係する職員以外は退席願います。
	【関係者以外の退席を確認後、報告事項⑤を報告し、閉会】